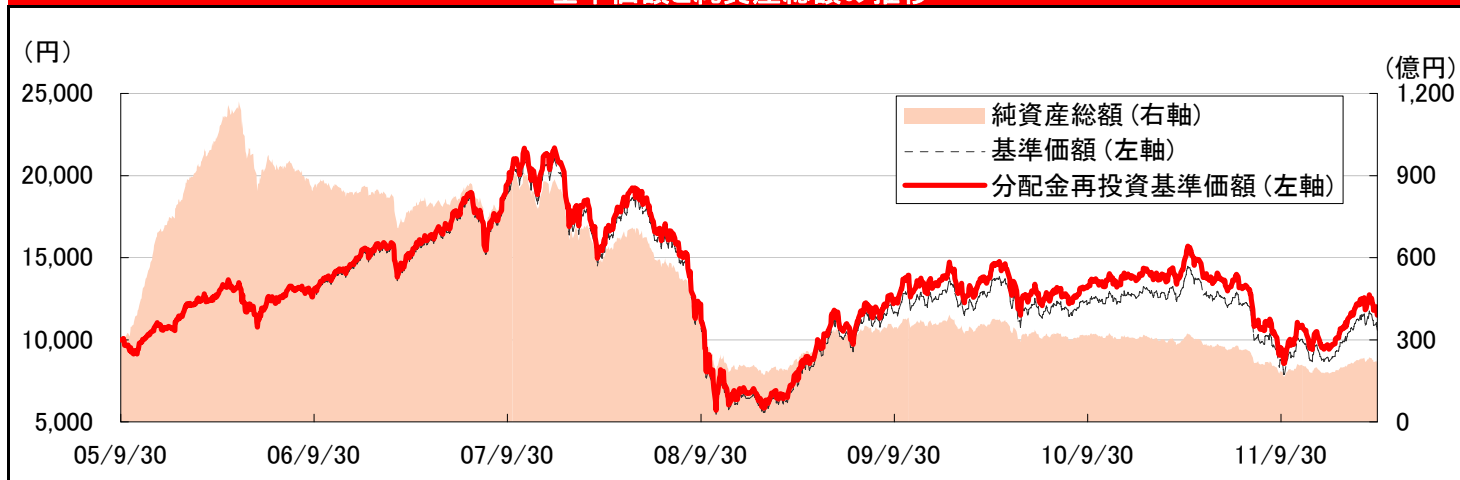


HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬(税込年1.365%)控除後のものです。分配金込基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2005年9月30日
信託期間	無期限
決算日	原則、9月29日/年1回決算

基準価額等(2012年3月30日現在)

1万口当たり基準価額(円)	10,583
設定来高値(2007年12月28日)	21,018
設定来安値(2008年10月28日)	5,441
純資産総額(億円)	213.5

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(06年9月29日)	200
第2期(07年10月1日)	300
第3期(08年9月29日)	200
第4期(09年9月29日)	200
第5期(10年9月29日)	200
第6期(11年9月29日)	0
	-
	-
	-
	-
	-
設定来累計	1,100

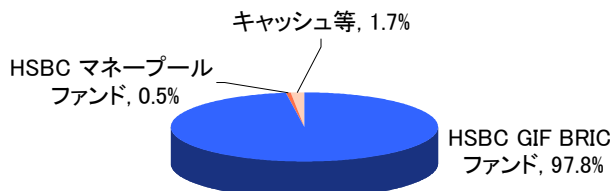
* 将来の分配金は運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

期間別騰落率(税引前)

1ヶ月	-7.2%
3ヶ月	22.0%
6ヶ月	20.8%
12ヶ月	-22.0%
36ヶ月	52.3%
設定来	14.9%

* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

信託財産の構成



*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

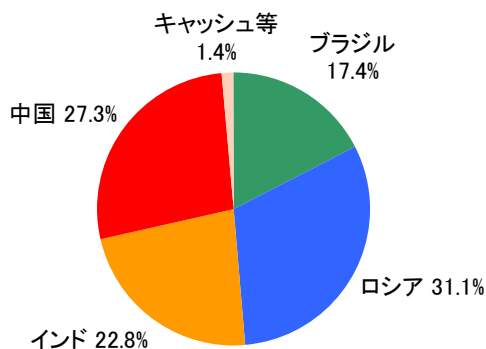
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

HSBC GIF BRIC ファンドの状況 (2012年3月30日現在)

国別投資配分



* 国別投資配分は派生商品による投資も含まれます。

業種別組入比率

業種	比率
石油・ガス	30.3%
金融	30.1%
素材	14.6%
資本財	7.2%
消費財	4.5%
通信サービス	4.5%
消費者サービス	3.1%
公益	2.1%
テクノロジー	1.6%
その他	0.6%
-	-
キャッシュ等	1.4%
合計	100.0%

*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入上位銘柄と対純資産組入比率

順位	銘柄名	国名	セクター	比率
1	ズベルバンク	ロシア	銀行	5.1%
2	ルクオイル ADR	ロシア	石油・ガス精製	4.8%
3	ガスプロム	ロシア	石油・ガス精製	4.6%
4	ガスプロム ADR	ロシア	石油・ガス精製	4.2%
5	中国建設銀行	中国	銀行	3.3%
6	中国海洋石油	中国	石油・ガス精製	3.0%
7	中国工商銀行	中国	銀行	2.8%
8	中国移动	中国	移動体通信	2.6%
9	ロスネフチ GDR	ロシア	石油・ガス精製	2.4%
10	マルチ・スズキ	インド	自動車・部品	2.0%
組入銘柄数				108

* 銘柄名は、報道等の表記を参考にHSBC投信が翻訳しており、発行体の公式名称やその和文訳と異なる場合があります。

* 優先株・普通株など、またそれらのADR・GDRは各々別銘柄として表記しています。なお、原則として優先株をPN、ユニット株をUNIT、新株予約権付証券・エクイティリンク証券をELNと注記しています。

* セクター・業種分類はインダストリー・クラシフィケーション・ベンチマーク(ICB)を参考にしています。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

主要株価指数の騰落率(前月比)

ブラジル ボベスパ指数	-2.0%	インド SENSEX指数	-2.0%
ロシア RTS指数	-5.6%	中国 H株指数	-10.0%

【3月のBRICs各国の株式市場と主要投資対象先ファンドの投資戦略】

3月のBRICs諸国の株式市場は、1月、2月の全面高から反落し、全面安となりました。BRICs4ヶ国の株式市場の3月のパフォーマンス(米ドル建)は前月末比-7.3%で、先進国の同+0.5%を下回りました。ユーロ圏の景況感悪化、中国の景気鈍化懸念、また中国及びインドで金融緩和のペースが緩やかにとどまっていることなどが、BRICs諸国の株式市場を押し下げる要因となりました。為替面では、ブラジルリアル、インドルピーが対円、対米ドルで弱含み、ロシアルーブルは対円では小幅な動きであったものの、対米ドルでは弱含みました。香港ドルは対円で強含みました。

BRICs諸国を含む新興国株式市場のバリュエーションは依然として魅力的で、純資産倍率(PBR)は1.7倍です。過去の株式市場の回復局面に見られるように、リスク選好度が持ち直す局面では、景気循環株がアウトパフォームする傾向があります。当ファンドでは現状割安感の高い景気循環株の比率を高く維持しています。またアナリストは新興国企業の業績成長に対して強気で、今年の一株あたり利益成長率予想は+14.6%と、先進国の+11.0%を上回るものになっています。

欧州債務問題は、ギリシャ問題の当面の収束を受け、ひとまず小康状態にあります。周辺国への波及リスクは完全に払拭されたわけではなく、今後も引き続き市場の不安定要因となる可能性はあります。しかし、関係諸国、諸機関の努力により、解決に向けた方向に進んでいます。米国景気は、強弱入り混じる指標が発表されていますが、雇用も回復基調にあり、緩やかながらも改善方向にあると考えられます。中国は、3月には追加金融緩和は実施しませんでした。今後、追加的景気刺激策を講じると予想されます。このような中、当社では、3月のBRICs株式市場の反落はやや過剰であると見ています。

【各国株式市場及び主要投資対象ファンドであるHSBC GIF BRIC ファンドの運用状況】

各市場のバリュエーションを考慮し、国別配分は以下のようにしました(いずれも2月末→3月末)。

ロシア30.4%→31.1%、中国27.4%→27.3%、インド22.9%→22.8%、ブラジル17.8%→17.4%(キャッシュ1.5%→1.4%)

【ブラジル株式市場】

ブラジル株式市場は下落しました。ブラジル中銀は、3月6日・7日開催の金融政策委員会では、市場予想を上回る0.75%の利下げを実施し、政策金利を9.75%としました。しかし、その議事録を受け、今回の利下げサイクルにおける政策金利の引き下げは9.0%までにとどまるとの見方が広がり、株式市場にとってマイナス要因となりました。一方、経済指標はなお強弱交錯しているものの、景気底入れの兆候を示すものが増えつつあり、実質国内総生産(GDP)成長率は、前期比で2011年7-9月期の-0.1%から10-12月期は+0.3%となり、また小売売上高は前月比で2011年12月の+0.5%から2012年1月は+2.6%になりました。

【ロシア株式市場】

ロシア株式市場は下落しました。欧州および中国の景気減速懸念が主たるマイナス要因でした。しかし国内の投資環境は良好です。2月の経済指標では、鉱工業生産指数が、1月の前年同月比+3.8%から同+6.5%に、実質賃金が1月の同+10.5%から同+13.3%に、小売売上高が1月の同+6.8%から同+7.7%となりました。また4日の大統領選でプーチン氏が当選したことにより、ロシアの政局を巡る不透明感はかなり払拭されたものと見られ、これがロシア株式市場の見直しに繋がることが期待されます。

【インド株式市場】

インド株式市場は下落しました。国内では、5つの州議会選挙のうち3つで与党・国民会議派が敗北したことによる経済改革加速への期待の後退や、原油高を背景とするインフレ再燃懸念の高まりがマイナス要因となりました。インド準備銀行は9日の引け後、大方の予想よりも早く、預金準備率を0.75%引き下げて4.75%とすると発表(実施は10日)しました。15日の定例金融政策決定会合では、政策金利であるレポレートは8.5%に据え置かれました。また16日に政府が提出した2012年度(12年4月~13年3月)予算案は、大衆迎合色が強いとの見方がある一方、緩やかな財政再建に向けた現実的な予算案であるとの市場評価もあります。

【中国株式市場】

中国株式市場は下落しました。政府が2012年の経済成長率の目標を昨年までの+8%から+7.5%に引き下げたこと、温家宝首相が不動産価格抑制策を緩めることは出来ないと言ったこと、1-2月の経済指標が景気鈍化を示すものであったことなどがマイナス要因でした。1-2月の経済指標では、鉱工業生産の伸びは2011年12月の前年同月比+12.8%から同+11.4%に、小売売上高も同+18.1%から同+14.7%に低下しました。一方、2月の消費者物価指数(CPI)上昇率が前年同月比+3.2%と1年8ヶ月振りの低水準となり、追加金融緩和観測が浮上しました。当社では、金融、財政双方の景気刺激策が実施されることで、今年後半の実質GDP成長率は前年同期比で+8.8~8.9%まで持ち直し、通年では+8.6%になると予想しています。

【HSBC マネープールファンド】

3月の短期国債の利回りは、3ヶ月物が0.1%程度で推移しました。このような環境のなか、同ファンドの運用においては、リスクを抑えながら、短期国債への投資を基本として引き続き安定的な運用成果を目指す方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

〈ご参考〉各国株価指数の推移(2005年9月30日～2012年3月30日)

〈ブラジル ボベスパ指数〉



〈ロシア RTS指数〉



〈インド SENSEX指数〉



〈中国 H株指数〉



* 各国株価の推移グラフでは、ブルームバーグからの数値(RTS指数は米ドルベース、他は現地通貨ベース)を基に2005年9月30日を100として指数化しております。また、上記グラフにおける株価指数の動きはBRICs各国の株式市場の動向を示すために参考として掲げたものであり、BRICs4ヶ国における実際の株式運用によるファンドの基準価額の推移とは必ずしも一致しません。

出所:ブルームバーグ

設定・運用:HSBC投信株式会社

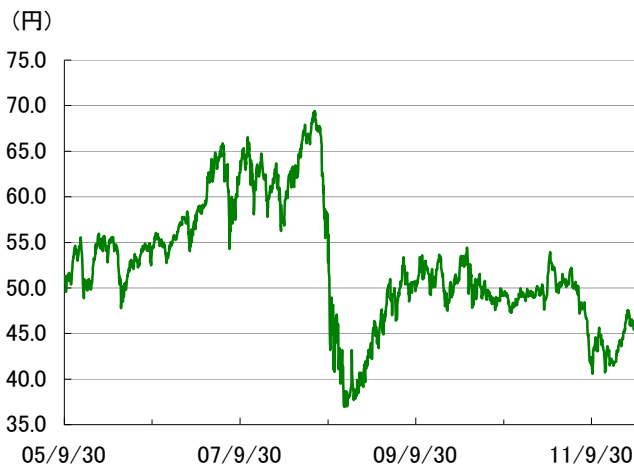
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

<ご参考> 関連通貨の推移 (2005年9月30日~2012年3月30日)

<ブラジルレアル/円>



<ロシアルーブル/円>



<インドルピー/円>



<香港ドル/円>



<米ドル/円>



<中国人民元/円>



出所:投資信託協会

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの特色とHSBCグループについて

当ファンドの特色

主として、米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人*の投資信託証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

* ファンド名は「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC Equity クラスJ」です。
なお、略称名は「HSBC GIF BRIC ファンド」です。

1 BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の株式等に投資します。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC ファンド」への投資を通じて、以下の株式等に投資します。

投資対象企業	・BRICs諸国の企業
投資対象有価証券	・投資対象企業の株式 ・投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券)等 ※預託証券とは、ある国の発行会社の株式を海外でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行される証券のことをいいます。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC ファンド」の投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。
※投資対象ファンド(投資信託証券)は、委託会社の判断により、見直しを行うことがあります。これに伴い、投資対象ファンド以外の投資信託証券に投資することがあります。
- ▶ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2 「HSBC GIF BRIC ファンド」の運用は、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC ファンド」は、ベンチマークを定めていません。したがって業種別配分、個別銘柄の時価総額は銘柄選定時に考慮せず、最も効率的と判断する銘柄に投資します。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

HSBCグループについて

《HSBCグループおよびHSBCグローバル・アセット・マネジメント》

- ▶ HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは、英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる80を超える国と地域に約7,500の拠点を擁する世界有数の金融グループです。その歴史は、1865年の創業に遡ります。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、HSBCグループに属する資産運用会社の総称です。ロンドン、パリ、ニューヨーク、サンパウロ、香港、シンガポール、ムンバイ(ボンベイ)、東京等、世界約30の国と地域に拠点を有しています。HSBC投信株式会社は、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの一員です。

※上記は2011年12月20日現在知りうる情報であり、今後変更になることがあります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。 エマージング市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さく流動性が低いことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。
税制変更リスク	投資対象国によっては、非居住者の有価証券投資に対して金融取引税が課されたり、保有有価証券の売買益に対してキャピタル・ゲイン課税が適用されたりすることがあります。将来、こうした投資対象国の税制が変更された場合など、当該関係法令が改正された場合には、基準価額が影響を受ける可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ 上記のリスクをご理解いただき、投資のご判断はご自身でなさいようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料です(ただし、販売会社固有情報部分を除きます。同情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入のお申込みにあたりましては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	受託会社 三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社)	販売会社※
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、換金申込の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、換金代金および償還金の支払等を行います。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社

電話番号 03-3548-5690

ホームページ www.assetmanagement.hsbc.com/jp

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

お申込みに関する要項

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 *購入代金とは、購入金額(購入価額×購入口数)に購入時手数料(税込)を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。
購入の申込期間	平成23年12月20日から平成24年12月19日まで(当該期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:平成17年9月30日)
繰上償還	ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年9月29日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	5,000億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	決算時及び償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて知られたる受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、ブラジル、米国、イギリス、インド、香港の証券取引所の休場日、ルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
その他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「BRICs株」の略称で掲載されます。

当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時にご負担いただけます。 購入金額に、 3.675%(税抜3.5%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して、 年1.365%(税抜年1.30%) 運用管理費用は毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 (税抜年1.30%の内訳:委託会社0.50%、販売会社0.75%、受託会社0.05%) 投資対象とする投資信託証券:年0.6%程度(年0.042%~0.6%) 実質的な負担: 年1.965%(税抜年1.90%) 程度
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 (1) 有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 (2) 振替制度に係る費用/法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用/監査報酬等 ((2)の項目については、純資産総額に対し上限年0.2%として毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。) (3) 投資先投資信託証券における売買委託手数料、監査報酬、カストディーフィー、登録・名義書換代行会社報酬等 ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。

※当ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

(商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎 五十音順、2012年4月18日現在)

金融商品取引業者名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第67号	○			
いちよし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第24号	○	○		
HSBC証券会社東京支店	○		関東財務局長(金商)第212号	○		○	
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○	○		
SMBCフレンド証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第40号	○			
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	
香川証券株式会社	○		四国財務局長(金商)第3号	○			
金山証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第60号	○			
極東証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第65号	○			○
クレディ・スイス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第66号	○	○	○	○
コスモ証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
篠山証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	○		関東財務局長(金商)第170号	○			
高木証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第20号	○			
中銀証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第120号	○			
内藤証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
奈良証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第25号	○			
日産センチュリー証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第131号	○		○	
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第20号	○		○	
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第20号	○			
みずほインベスターズ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第173号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○		○	
明和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第185号	○			
山形証券株式会社	○		東北財務局長(金商)第3号	○			
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○		○	
株式会社関西アーバン銀行		○	近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
スルガ銀行株式会社		○	東海財務局長(登金)第8号	○			
ソニー銀行株式会社(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第578号	○		○	
株式会社但馬銀行		○	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社福井銀行		○	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社福岡銀行		○	福岡財務支局長(登金)第7号	○			
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド		○	関東財務局長(登金)第105号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社三菱東京UFJ銀行		○	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
楽天銀行株式会社(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第609号	○		○	
三井生命保険株式会社		○	関東財務局長(登金)第122号	○			

※ 現在、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社福井銀行、株式会社福岡銀行、株式会社関西アーバン銀行、三井生命保険株式会社では新規のお取扱いをしております。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。